



12月7日地域の科学&SSH海外研修報告会を実施しました。

◆地域の科学◆

学校設定科目「統合科学Ⅰ」の一環として行っている地域の科学では、1学年を男女に分け、男子は吉浜釜石道路の建設現場にて「復興道路フィールドワーク」、女子は釜石高校石楠花ホールにて女性地域の研究者を招いた講演会「リケジヨ(理系女子)講演会」を実施しました。

地域の科学「復興道路フィールドワーク」

男子生徒73名は、吉浜釜石道路の建設現場に伺い、建設現場にてフィールドワークを行いました。建設現場では、実際に橋脚の上やトンネルの中を歩きながら、建設途中で壁から水がしみ出ているトンネルの壁面や舗装される前の道路、建設のための重機や設備を目の当たりにし、現場の建設担当者より復興道路の概要や道路の建設工法について説明していただきました。さらに、トンネルの模型を活用しながら、トンネルの形状や耐久性についての詳しい説明をしていただきました。実際に目で見て、手で触れながらの実習をとおして、道路工事の進め方や大変さについて学ぶことができました。代表で謝辞を述べた佐々木裕人君は、「実際に建設現場で見学できたことは本当に貴重な経験でした。今は建築工学に興味があるので、進路決定に向けてとても参考になりました。」と研修を振り返りました。



地域の科学「リケジヨ講演会」

女子生徒110名は、地域で研究活動を行っている女性研究者を招き、リケジヨ(理系女子)の発想や考え方に触れることを目的とした「リケジヨ(理系女子)講演会」を実施しました。

今年度は、水産食品加工学および食品科学を専門とする岩手大学農学部 袁春紅准教授と、集団遺伝学および分子生態学を専門とする東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターの峰岸有紀特任研究員の講演でした。講演では研究内容の紹介のほか、研究者を志したきっかけや研究生活、高校生に期待することなどについてお話をいただきました。



◆SSH海外研修報告会◆

地域の科学に引き続き、LHRでは9月に英国北部のオークニー諸島で行われたSSH海外研修に参加した、本校理数科3年生の海外研修報告会を実施しました。オークニー諸島の海洋エネルギーセンターでの見学の様子や現地の高校生と行ったグループワークについてパワーポイントを使い報告を行いました。研修に参加した本校3年理数科の佐々木長将君は、「日常で疑問に思ったことを実際に確かめるチャンスが理数科にはある。課題研究を通して思考力や分析力が磨かれた。迷っている生徒がいるならば、ぜひ理数科を勧めたい。」と理数科の良さ話してくれました。

本校の海外研修は、(オークニー諸島での研修を今年度で終了し、)次年度はアジア地域での実施を予定しています。

